

令和7年度 第1回 稲沢市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和7年6月26日（木）
午後1時58分～2時58分
場 所 環境センター2階 大会議室

●異動により、新たに選任された小山暁氏に辞令を交付

●開会

課長 令和7年度第1回稲沢市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。足立会長、ごあいさつをお願いいたします。

会長 今回を含め、年3回の審議会を開催予定です。皆様のご意見を反映しながら内容を更新し、充実した議論を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

課長 ここからの議事の進行は、稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例第5条第3項の規定により、足立会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

●議題1「令和7年度の審議内容及び開催日程について」

会長 議題1「令和7年度の審議内容及び開催日程について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料1に基づき説明>

会長 説明が終わりました。委員の皆さんのご意見はございませんか。

<質疑なし>

●議題2「令和6年度のごみの概要について」

会長 次に、議題2「令和6年度のごみの概要について」に移ります。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料2に基づき説明>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

長坂委員 紙類や布類等の資源化量が減少していますが、減少分は民間が運営しているごみステーションでの回収が影響しているのでしょうか。

事務局 排出量そのものも減少しています。

長坂委員 ごみステーションが街中に増加していると思いますが、そのことは資源回収量の減少に関係ありますか。

事務局 民間の回収場所が増えた場合、資源の持ち込みがそちらに流れる可能性はありますが、どの程度の影響があったかは正確に把握しておりません。民間の回収場所については把握しながら、情報の提出を依頼しております。

長坂委員 昨年度から発火性危険物としてスプレー缶の回収を始めましたが、どれくらいの量を回収するか想定していますか。

事務局 スプレー缶類については、今年度から処理業務を委託することとし、その委託料を算出するため、昨年度、毎月発火性危険物の組成調査を行い、スプレー缶の回収量を推計し、予定を立て進めております。

小山委員 灰資源化量が増加していますが、この増加の理由を教えてください。

事務局 焼却灰の処理として埋立処理と灰資源化処理の2つの方法がありますが、埋立地が満杯になってきたため埋立処理を減らしたため、灰資源化量が増加しています。

小山委員 灰資源化の処理には費用が掛かっているのでしょうか。

事務局 処理費用が掛かっております。

●議題3「分別収集計画（第11期）について」

会長 次に、議題3「分別収集計画（第11期）について」に移ります。事務局から説明をお願いします。

事務局 <資料3に基づき説明>

会長 分別収集計画の排出量はどのように推計しましたか。

事務局 人口変動と対象品目の過去の実績値を基に推計しています。人口変動の推計値としては、国立社会保障・人口問題研究所が作成した将来推計人口を参考にしています。

内田委員 ごみの収集について、マンションやアパートの集積場に設置するカラス等への対策用の設備に対して補助金が出るのでしょうか。

事務局 昨年度から集積場に設置するごみボックス購入の補助金交付を開始しました。なお、補助金の申請は、行政区の区長から申請があった場合にのみ受け付けています。

●議題4「その他」

会長 次に、議題4「その他」ですが、事務局から報告はありますか。

事務局 <資料4「フードドライブ」について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さまのご意見はございませんか。

<質疑なし>

会長 その他、全体を通して委員の皆さまのご意見はございませんか。

副会長 市内でいちょうの木を伐採して廃棄していますが、この木材を再利用できないでしょうか。例えばコースター等に再利用して、ごみの量を削減してはいかがでしょうか。

事務局 いちょうの木の再利用には、加工する職人と加工した製品の保管場所が必要となります。もし再利用を実現するなら、様々な機関で動く必要があります。

会長 その他、委員の皆さまのご意見はございませんか。
特にご意見も無いようですので、以上で本日の会議は終了させていただきます。
皆様のご協力ありがとうございました。進行を課長にお戻しいたします。

課長 足立会長、ありがとうございました。
次回の審議会の開催予定は、11月下旬を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。皆様、本日はお疲れさまでした。

●閉会